



プラスチックごみ再資源化100%継続中！
 王冠ゼロエミッション工場

株式会社湯山製作所 岡山工場

企業紹介



株式会社湯山製作所(本社:大阪府豊中市)は、薬を小分けして包む「分包機」など、主に調剤業務に必要な医療機器の開発・製造・販売を行っています。

岡山工場では、分包の際に使う「分包紙」や、薬を入れる「薬袋紙(やくたいし)」の包装材、並びに処方箋や調剤業務支援の記録紙等を製造しています。

取組事例のご紹介

Recycle(リサイクル) プラスチック資源循環への取組



ペットボトルのキャップのリサイクル活動

当工場はペットボトルのキャップリサイクル活動に取り組んでいます。社員が参加しやすいよう、回収専用容器を食堂に設置。さらに、キャップを入れるたびに数をカウントする装置を自作して取り付け、社員の意欲向上を図っています。



プラスチック端材をリサイクル原料に

分包紙を巻き取る軸部分など、プラスチック製品を製造する過程で出てくる端材のロス削減対策のひとつとして、端材を自社で2～3mmに粉砕し、ペレットに加工し、自社のプラスチック原料として再資源化しています。



プラスチックごみの再資源化率100%

当工場は廃棄物の排出を限りなくゼロに近づけている「ゼロエミッション工場」です。特にプラスチックについては、製品の製造工程に、あらかじめ端材の粉砕・ペレット化(再資源化)まで組み込んでおり、また、プラスチックごみは分別して処理委託し、養生シートや固形燃料の材料として再利用されています。



プラスチック3R活動に関してお聞きました

Q. おかやまプラスチック3R宣言事業所への登録のきっかけは何ですか？



A. 長年、環境問題に取り組み、環境保全に努めてきた当工場は、「海洋プラスチックごみ」が近年、社会問題となり世間の関心を集めていたこと、プラスチックにおける「3R」推進の方向性が岡山県と合致したことなどをきっかけに、2023年3月、おかやまプラスチック3R宣言事業所に登録しました。



Q. 独自の取組内容“キラリPOINT”を教えてください



A. 当工場で生産している一部製品の梱包は医療業界のイメージに合わせて白色の化粧箱を使用しており、その箱を更に専用ポリ袋で包装・密封した状態でお客様へお届けしていました。これは色々な利点もありましたが、逆に一日で何百枚ものポリ袋がお客様の元で開梱時にプラスチックごみとして廃棄されるという事になります。そこでこの包装に使用していた専用ポリ袋を廃止し、併せて箱のデザインも一新しました。ポリ袋を廃止したことでお客様の元で出るプラスチックごみの削減はもちろんですが、それ以外にも工程やコストの削減にも繋げることができました。



Q. 他社におススメしたいコツやアイデアなどありますか？



A. 全社員を対象とした環境教育を実施しています。

2003年の環境ISO14001認証取得以来、地球規模の環境課題に取り組むため、全社員を対象に環境活動に関する知識・自覚の向上を図ってきました。具体的には、環境対策の担当を一定の部署や社員に固定せず持ち回りにすること、朝礼や会議の場における情報共有などにより、全社員が環境について学ぶ機会を得られるよう工夫しています。このため、社員はマイボトル等を積極的に利用したり、プラスチック製品の使用を削減したり、工場で使用するプラスチック製品の調達は長く使えるものやリサイクル製品を選ぶなど、環境に配慮した行動を自然と選択するようになりました。製造業界において環境対策は企業選択の一つの物差し。当工場は環境対策においても業界をリードしています。

